



▲村雨城 虎口

# 甲賀市の文化財③②

## 甲賀郡中惣遺跡群

### 国指定史跡に

5月16日、国の文化審議会からの答申によって「甲賀郡中惣遺跡群」が国指定史跡となることが決まりました。市内の国指定史跡として3例目となります。

史跡として答申されたものは、甲南町新治にある寺前城、村雨城、新宮城、新宮支城、竹中城の5箇所、いずれも里山の丘陵を利用して作られた

小規模な城館で、単体ではなく「群」として指定されたものです。

「甲賀郡中惣」とは、戦国時代にこの地を治めていた土豪・地侍の自治組織のことです。この地域では権力のある領主が一円的に支配していたのではなく、それぞれの地域を治めていた小領主達が互いに連合し合って、合議制によって物事を決定するなど

共和的な運営が行われており、これが戦国時代の特異な地域支配のあり方として長年研究が積み重ねられてきました。一方城跡については、市内で200箇所を越え、狭い谷筋に方形土塁で囲んだ小規模な城がひしめき合った地域として知られていました。

中世の小領主の支配のあり方が城館遺跡の密集という形で地域に反映し、今日まで中世の姿が完全に残っていることが「貴重なこと」として評価されたものです。そしてその顕著なものが甲南町新治地域に集中してみられるのです。

寺前城では進入路を複雑に折り曲げて容易に入れない工夫が施され、深い2本の堀切を挟んで村雨城と続きます。その東側にある新宮城は通路

を克蘭ク状に折り曲げた枡形状虎口を備えているのが特徴で、すぐ隣の新宮支城は、構造は単純ですが10m近いそびえるほどの高い土塁を築き、日本有数の高さを誇っています。竹中城は平地に築かれた典型的な甲賀型の方形館です。

このような城館が、およそ1キロメートルの範囲に濃密に分布しており、しかもそれぞれ防備のための工夫が施されています。それは永禄11年(1568年)織田信長の近江進軍によって本城を棄てた守護六角氏が甲賀に逃避、そして伊賀に潜伏する途上、一時この近くの杉谷に滞在したことが要因とも考えられ、この時の軍事的緊張が城作りにも影響を与えたのでしょうか。発展した構造から16世紀後半頃に築城されたと思われる里山の豊かな自然の中でおよそ500年間も守られてきた貴重な城跡群、これからは町づくりに生かせるように、考えていきたいものです。

問い合わせ  
歴史文化財課 調査管理係  
☎86-8026  
FAX 86-8216

# 介護予防をはじめましょう!

## ◎介護予防のとりくみは早いうちに

### 介護予防って何ですか?

介護予防とは、『①介護が必要とならないように予防すること』『②介護が必要になってもそれ以上悪化しないようにすること』です。

「歳をとったら心身の働きが衰えるのは仕方ない。」と考えていませんか?心身の機能を働かせることで老化のスピードを遅らせる事ができることが明らかになってきました。

### 生活機能の低下に要注意!

介護予防のとりくみは元気なうちからはじめることが大事ですが、生活機能(人が生きていくための心身の働きや家庭や社会での役割を持つ事)の低下がある方は介護予防のとりくみ方法などについてぜひご相談ください。

### こんな変化におもひあたりませんか?

- ◆人の集まりの場へ参加することが少なくなってきた。または全く行かなくなった。
- ◆風邪をひいて寝込みやすくなった。また、回復したものの

これまでのように外出や運動をしていない。

- ◆好きだった趣味や家での役割をすることがおっくうになってきた。長続きしなくなってきた。
- ◆身だしなみに無頓着になってきた。
- ◆段差につまづいて転ぶ事が増えた。階段の上り下りが難しくなってきた。

65歳以上の方(介護認定されている方以外)に送付している「基本チェックリスト」で生活機能の低下について確認することができます。

※気になる方は早いうちに相談してください。

### 相談窓口(お住まいの地域の地域包括支援センター)

生活機能の低下に気付いたらお住まいの地域の地域包括支援センターへご相談ください。

### 問い合わせ・相談窓口

水口地域包括支援センター ☎65-1170 FAX62-5418  
土山・甲賀地域包括支援センター ☎88-8136 FAX88-6557  
甲南・信楽地域包括支援センター ☎86-8034 FAX86-5974